

「令和元年度 STOP!冬季労働災害プロジェクト」実施要綱

高山労働基準監督署

1 趣旨

飛騨地区は、冬季の厳しい気象条件の影響を受け、積雪・凍結・寒冷に起因した冬季特有の災害が多発している。

平成25年度から30年度の6か年の冬季における休業4日以上労働災害は296件発生しているが、そのうち、冬季特有の労働災害は106件、35.8%を占める状況となっている。その内容の内訳は、路面の凍結等による転倒災害が62件(58.5%)と最も多く、手足の骨折等の重傷災害が多くなっている。続いて、屋根の雪下ろし等における墜落・転落災害が18件(17.0%)、車やオートバイのスリップ等による交通事故が7件(6.6%)発生している。

その他にも、除雪作業時の重機災害、燃焼式暖房器具使用時の一酸化炭素中毒などの労働災害も散見される。

このような状況から、当署においては冬季特有の災害を減少させることは、極めて重要な課題となっている。

このため当署では、安全衛生関係団体、事業者団体、地方自治体等と緊密に連携し、事業場における自主的な安全衛生管理活動の一層の推進を図り、冬季特有の労働災害の発生を防止するため、「STOP!冬季労働災害プロジェクト」を実施する。

2 重点目標

積雪・凍結・寒冷に起因した冬季特有の転倒災害、交通事故、重機による災害、墜落・転落災害及び一酸化炭素中毒の防止

3 実施期間

令和元年11月1日から令和2年3月31日

4 主唱者

高山労働基準監督署

5 協力者

労働災害防止関係団体、事業者団体、地方自治体等、本要綱の趣旨に賛同する団体又は機関

6 実施者

各事業者

7 主唱者の実施事項

冬季労働災害の防止に関する安全広報資料の作成

事業場に対する冬季労働災害防止対策の実施についての指導

各種媒体による広報の実施

8 協力者への依頼

主唱者は、上記7の事項を実施するため、協力者に対し支援・協力を依頼する。

9 実施者の実施事項

安全衛生委員会等での冬季労働災害防止の調査審議

冬季労働災害防止のため中心となって取り組む管理者の選任

職場巡視の実施、職場環境の改善や労働者の意識啓発

転倒災害防止対策

事業場敷地内、駐車場、出入口、通勤経路の「危険マップ」の作成

クッション性の高い衣服及び保温性が高く、滑りにくい靴（スパイク付長靴）の着用

小さな歩幅で靴の裏全体をつけたゆっくりな歩行

服のポケットに手を入れたままの歩行禁止

融雪剤、砂の散布、ヒートマットの設置などの凍結防止対策の実施

転倒予防体操の実施

交通事故防止対策

冬用タイヤの着用、タイヤの摩耗の確認

過去の災害事例を参考にした「交通安全情報マップ」の作成

交通状況に応じた運転時間の確保

法定速度の遵守（路面状況、天候に合わせた速度の運転）

「急」のつく運転の禁止

車間距離の確保

雪道運転の危険予知

重機による災害防止対策

作業開始前の機械に付着した氷塊の除去

ワイパー及びウインドーガラスの熱線の性能確認

危険箇所の区画

視界不良時、運転者及び誘導者等の蛍光ベスト、ヘッドライトの着用

作業位置、合図方法の確認

誘導者の配置

路肩の位置を示す標識の設置

過去の雪崩発生の有無の確認

墜落・転落災害防止対策

親綱等の墜落制止用器具取付設備の設置並びに墜落制止用器具及びヘルメットの使用

移動はしごの転移防止の実施（脚部・上部固定、上端を60cm以上突き出す）

雪を落とす場所の立入禁止

屋根の上部から下部へ向かう除雪の実施

2人以上での作業（監視人の設置）の実施

上下作業の禁止

作業開始前の足場板上の除雪及び手すり等の設置状況の確認

一酸化炭素中毒防止対策

十分な換気ができない箇所へ立ち入る際の適切な呼吸用保護具(エアライン式呼吸用保護具等)の選定、使用

一酸化炭素中毒の危険性、緊急時の対応についての教育

換気の悪い場所でのエンジン及び練炭等の使用禁止又はやむを得ず使用する場合の十分な換気の実施

屋内のエンジン、練炭等を使用している箇所への立入時の一酸化炭素濃度の測定

一酸化炭素濃度測定及び十分な換気を行っていない上記作業場所への立入禁止

湯沸かし器や燃焼式の暖房器具を使用する場合の換気の励行

令和元年度 STOP!冬季労働災害 プロジェクト





冬季転倒災害防止対策

※転倒対策

事業場敷地内、駐車場、出入口、通勤経路の滑りやすい場所を確認し「危険マップ」を作成
 保温性が高く、滑りにくい靴（スパイク付長靴など）を使用
 小さな歩幅で靴の裏全体をつけてゆっくり歩く
 服のポケットに手を入れたまま歩かない
 凍結防止対策（融雪剤、砂の散布、ヒートマットの設置など）

※けが対策

クッション性の高い衣服を着用
 転倒予防体操



～災害事例～

駐車場から事務所に歩いて向かう途中、雪の下の氷に気が付かず、滑って転倒した

雪が積もっていたので気を付けて歩いたが、側溝の鉄板の蓋の上を歩いてしまい、滑って転倒した

	点検項目	チェック
1	敷地内の通路は指定していますか？	
2	屋外の通路を除雪していますか？	
3	敷地内の通路は凍結防止対策を行っていますか？	
4	冬用の履物を使用していますか？	



交通事故防止対策

※運転準備

冬用タイヤを着用、タイヤの摩耗を確認
 過去の災害事例を参考に「交通安全情報マップ」作成
 交通状況に応じた運転時間の確保

※安全運転

法定速度遵守
 （路面状況、天候に合わせた速度で運転）
 「急」のつく運転の禁止
 車間距離の確保
 雪道運転の危険予知
 ex.) 路肩の除雪された雪の陰から歩行者が飛び出す可能性がある



～災害事例～

凍結した路面でスリップし、中央分離帯に衝突した

スリップにより前方の車への追突を避けるために車線変更したトラックに気付くのが遅れ、トラックに追突した

	点検項目	チェック
1	冬道を運転する場合には、路面状況に合わせた速度で走行していますか？	
2	十分な車間距離をとって運転していますか？	
3	冬用タイヤの摩耗の有無を点検していますか？	



重機による災害防止対策

※ 視界確保

作業開始前に、機械に付着した氷塊を除去
ワイパーの性能確認
ウインドーガラスの熱線の性能確認

※ 接触防止

危険箇所を区画
視界不良時、運転者及び誘導者等の蛍光ベスト、
ヘッドライトの着用
作業位置、合図方法の確認

※ 転落防止

誘導者を配置
路肩の位置を示す標識の設置
過去の雪崩発生の有無を確認



～災害事例～

除雪用機械への乗車の際に、突風にあおられたため、手すりを掴んでいた腕に無理な力がかかり、負傷した

	点検項目	チェック
1	視界確保はできていますか？	
2	危険箇所を区画していますか？	
3	合図は決めていますか？	



墜落・転落災害防止対策

※ 屋根の除雪作業

親綱等の墜落制止用器具取付設備を設置し、墜落制止用器具及びヘルメットを使用
移動はしごの転移防止（脚部・上部固定、上端を60cm以上突き出す）
雪を落とす場所の立入禁止
除雪は屋根の上部から下部へ向かう
2人以上での作業（監視人の設置）
上下作業の禁止

※ 足場での作業

作業開始前に足場板上の除雪
手すり等の設置状況の確認



～災害事例～

屋根の雪下ろし後、はしごで降りようとしたとろ、はしごの接地面が滑り、はしごと共に落下した
屋根の雪下ろし作業中、手持式スノーダンプで雪をすくって落とそうとしたところ、雪の重さに引っ張られて墜落した

	点検項目	チェック
1	当日の天候は確認していますか？ また、気温が高い場合には作業を中止する基準はありますか？	
2	親綱等の墜落制止用器具取付設備を設置して墜落制止用器具を使用していますか？	
3	屋根上に天窓等で踏抜いて墜落する危険のある箇所がないかを事前に確認していますか？	
4	屋根からの雪落しをする場合の周辺については、立入禁止の区画をしていますか？	



一酸化炭素中毒災害防止対策

※作業準備

十分な換気ができない箇所へ立ち入る際の適切な呼吸用保護具(エアライン式呼吸用保護具等)の選定、使用
一酸化炭素中毒の危険性、緊急時の対応についての教育

※作業環境管理

換気の悪い場所でのエンジン及び練炭等の使用禁止
やむを得ず使用する場合は、十分な換気の実施
屋内のエンジン、練炭等を使用している箇所に立ち入るときは、一酸化炭素濃度を測定
一酸化炭素濃度測定、十分な換気を行っていない
上記作業場所への立入禁止
湯沸かし器や燃焼式の暖房器具を使用する場合の換気の励行



	点検項目	チェック
1	屋内作業場等、換気の悪い場所で内燃機関を使用していますか？	
2	屋内で、練炭、ジェットヒーター等を使用する場合は、その場所を立入禁止としていますか？	
3	上記場所に立入る場合には、換気をして、かつ一酸化炭素濃度を測定した後としていますか？	
4	湯沸かし器、燃焼式暖房器具を使用するときは、定期的に換気を実施していますか？	

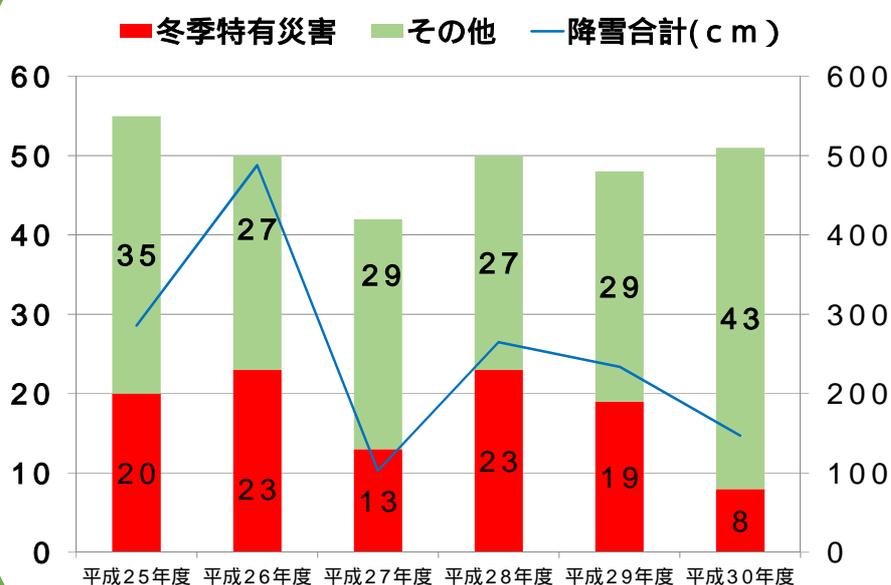
～災害事例～

締め切った工場内で、フォークリフト使用していたところ、排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒となった

空調機器及びファンが故障している状態で給湯機器を使用したところ、不完全燃焼が起こり一酸化炭素中毒となった

❄️ 冬季災害発生状況 ❄️

※12月～2月に発生した労働災害※



高山労働基準監督署管内において、冬季(12月～2月)に発生した休業4日以上災害のうち、冬季特有災害は35.8%を占める
さらに、冬季特有災害のうち、転倒災害が約6割を占める
冬季特有災害の発生数は、降雪量の増減に起因にする

冬季特有災害事故の型

